

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	楽器レッスン3	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	二村	実務経験の有無・職種	有・音楽教室ピアノ講師		
学習目的					
<p>楽曲を制作するには、基本的なスケールやコード感を理解している必要がある。そして合理的でスムーズな音楽制作に鍵盤は必要不可欠なツールとなっている。この科目では基礎的なピアノの奏法を学ぶ事によって、楽曲制作に必要なスケールやコード感を鍵盤を通して体得し、スムーズな音楽制作に役立てるようにする。さらには、音楽家としての表現の幅を広げるために、弾き語りでのピアノ演奏ができることを目的とする。</p>					
到達目標					
<p>本科目はグレード対応科目となっており、2年次前期はグレード11～15に準拠して授業が進行する。移調の技術と弾き語り奏法の理解と習得、特殊な和音の押さえ方に関する理解と習得、実際の演奏を想定した技術の取得を到達目標とする。移調し、自分のKeyに合わせて弾き語りができるようになる。3つ以上のコードでsus4,dim,augを弾け、理解できるようになる。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが出来るようになる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>基本的にはグルーブレッスン形式で進行するが、学生の個々の習得具合によって個人レッスンも取り入れる。ピアノ演奏を習得する事によって、鍵盤で弾いたコードに対してどのようなメロディーが合うのか、または、メロディーに対してどのようなコードが合うのかを理解し、音楽制作に発展させる。さらには音楽制作だけでなく、自身が表現者となり、ピアノ弾き語りができるようになる事を目指す。</p>				
注意点	<p>各自のピアノの音に集中するためヘッドホンを使用する。楽器への対応のためにヘッドフォンジャックから標準ジャックへの変換プラグを各自用意すること。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技術の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	実技	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	授業内発表	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	1年次のテクニックの復習(1)	グレード1～5の復習と、各項目が演奏出来る。			
2回	1年次のテクニックの復習(2)	グレード6～10の復習と、各項目が演奏出来る。			
3回	移調(1)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏出来る。			
4回	移調(2)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏出来る。			
5回	移調(3)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏出来る。			
6回	特殊な和音(1)	グレード12対応。3つ以上のコードでsus4、dim、augを演奏出来る。			
7回	特殊な和音(2)	グレード12対応。3つ以上のコードでsus4、dim、augを弾演奏出来る。			
8回	テンションコード(1)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏出来る。			
9回	テンションコード(2)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏出来る。			
10回	テンションコード(3)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏出来る。			
11回	コードチェンジ(1)	グレード14対応。テンポ120でコードチェンジがスムーズに演奏出来る。			
12回	コードチェンジ(2)	グレード14対応。テンポ120でコードチェンジがスムーズに演奏出来る。			
13回	コンピング(1)	グレード15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが演奏出来る。			
14回	コンピング(2)	グレード15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが演奏出来る。			
15回	まとめ	全体のまとめ			

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	楽器レッスン3
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	杉本	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的					
楽曲を制作するには、基本的なスケールやコード感を理解している必要がある。そして合理的でスムーズな音楽制作に鍵盤は必要不可欠なツールとなっている。この科目では基礎的なピアノの奏法を学ぶ事によって、楽曲制作に必要なスケールやコード感を鍵盤を通して体得し、スムーズな音楽制作に役立てるようにする。さらには、音楽家としての表現の幅を広げるために、弾き語りピアノ演奏ができることを目的とする。					
到達目標					
本科目はグレード対応科目となっており、2年次前期はグレード11～15に準拠して授業が進行する。移調の技術と弾き語り奏法の理解と習得、特殊な和音の押さえ方に関する理解と習得、実際の演奏を想定した技術の取得を到達目標とする。移調し、自分のKeyに合わせて弾き語りができるようになる。3つ以上のコードでsus4,dim,augを弾け、理解できるようになる。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンビングが出来るようになる。					
教育方法等					
授業概要	基本的にはグループレッスン形式で進行するが、学生の個々の習得具合によって個人レッスンも取り入れる。ピアノ演奏を習得する事によって、鍵盤で弾いたコードに対してどのようなメロディーが合うのか、または、メロディーに対してどのようなコードが合うのかを理解し、音楽制作に発展させる。さらには音楽制作だけでなく、自身が表現者となり、ピアノ弾き語りができるようになる事を目指す。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。一度弾けたからクリアではなく、弾けるようになったら何度でも練習し演奏技能の向上に努める事。譜面を読んでピアノが弾ける事を目的とするので他の楽器での演奏は認められない。ヘッドホンは必ず持参する事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	1年次のテクニックの復習(1)	グレード1～5の復習と、各項目が演奏できる。			
2回	1年次のテクニックの復習(2)	グレード6～10の復習と、各項目が演奏できる。			
3回	移調(1)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏できる。			
4回	移調(2)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏できる。			
5回	移調(3)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏できる。			
6回	特殊な和音(1)	グレード12対応。3つ以上のコードでsus4、dim、augを演奏できる。			
7回	特殊な和音(2)	グレード12対応。3つ以上のコードでsus4、dim、augを演奏できる。			
8回	テンションコード(1)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏できる。			
9回	テンションコード(2)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏できる。			
10回	テンションコード(3)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏できる。			
11回	コードチェンジ(1)	グレード14対応。テンポ120でコードチェンジがスムーズに演奏できる。			
12回	コードチェンジ(2)	グレード14対応。テンポ120でコードチェンジがスムーズに演奏できる。			
13回	コンビング(1)	グレード15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンビングが演奏できる。			
14回	コンビング(2)	グレード15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンビングが演奏できる。			
15回	まとめ	全体のまとめ			

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	楽器レッスン3	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	二村	実務経験の有無・職種	有・音楽教室ピアノ講師		
学習目的					
楽曲を制作するには、基本的なスケールやコード感を理解している必要がある。そして合理的でスムーズな音楽制作に鍵盤は必要不可欠なツールとなっている。この科目では基礎的なピアノの奏法を学ぶ事によって、楽曲制作に必要なスケールやコード感を鍵盤を通して体得し、スムーズな音楽制作に役立てるようにする。さらには、音楽家としての表現の幅を広げるために、弾き語りによってピアノ演奏ができることを目的とする。					
到達目標					
本科目はグレード対応科目となっており、2年次前期はグレード11～15に準拠して授業が進行する。移調の技術と弾き語り奏法の理解と習得、特殊な和音の押さえ方に関する理解と習得、実際の演奏を想定した技術の取得を到達目標とする。移調し、自分のKeyに合わせて弾き語りができるようになる。3つ以上のコードでsus4,dim,augを弾け、理解できるようになる。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが出来るようになる。					
教育方法等					
授業概要	基本的にはグループレッスン形式で進行するが、学生の個々の習得具合によって個人レッスンも取り入れる。ピアノ演奏を習得する事によって、鍵盤で弾いたコードに対してどのようなメロディーが合うのか、または、オリジナルのメロディーに対してどのようなコードが合うのかを理解し、音楽制作に発展させる。さらには音楽制作だけでなく、自身が表現者となり、ピアノ弾き語りができるようになる事を目指す。				
注意点	各自のピアノの音に集中するためヘッドホンを使用する。楽器への対応のためにヘッドフォンジャックから標準ジャックへの変換プラグを各自用意すること。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技術の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	実技	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	授業内発表	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	1年次のテクニックの復習(1)	グレード1～5の復習と、各項目が演奏出来る。			
2回	1年次のテクニックの復習(2)	グレード6～10の復習と、各項目が演奏出来る。			
3回	移調(1)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏出来る。			
4回	移調(2)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏出来る。			
5回	移調(3)	グレード11対応。指定されたコードを移調させ、自分のkeyに合わせて弾き語り演奏出来る。			
6回	特殊な和音(1)	グレード12対応。3つ以上のコードでsus4、dim、augを演奏出来る。			
7回	特殊な和音(2)	グレード12対応。3つ以上のコードでsus4、dim、augを弾演奏出来る。			
8回	テンションコード(1)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏できる。			
9回	テンションコード(2)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏できる。			
10回	テンションコード(3)	グレード13対応。テンションコードを2つ以上演奏できる。			
11回	コードチェンジ(1)	グレード14対応。テンポ120でコードチェンジがスムーズに演奏出来る。			
12回	コードチェンジ(2)	グレード14対応。テンポ120でコードチェンジがスムーズに演奏出来る。			
13回	コンピング(1)	グレード15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが演奏出来る。			
14回	コンピング(2)	グレード15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが演奏出来る。			
15回	まとめ	全体のまとめ			